

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度： 令和 7 年度)

施設の名称	東大阪市立スポーツホールかがやき	指定期間	令和5年度～	令和9年度	
		選定方法	公募		
		指定管理者名	HOS株式会社		
所管部課名	都市魅力産業スポーツ部 スポーツのまち推進室 市民スポーツ支援課	評価機関名	株式会社 E.S CONSULTING GROUP		
施設の設置目的	市民のスポーツ活動及びレクリエーション活動の発展を図り、市民体育の向上に資する。	主な事業	施設管理、運営業務、駐輪場管理、各種点検業務、施設利用(競技場)及び用具の貸出し等。		
設置時期	平成 7 年度				
主な料金体系 (有料・無料等)	有料(東大阪市立スポーツホール条例(平成7年東大阪市条例第33号。以下「条例」という。))及び同施行規則(令和2年東大阪市規則第23号。以下「規則」に従う)				

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)	
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
供用(開館)日数	307	308	306	307	307	
収支状況 (千円)	収入総額	7,210	9,500	9,500	9,500	
	指定管理者委託料	7,210	9,500	9,500	9,500	
	利用料金収入	0	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	0	
	支出総額	9,114	9,244	8,383	9,500	9,500
	直接経費					
	人件費	4,264	5,499	4,194	4,701	4,701
	施設維持管理費 事業費	4,850	2,795	3,239	3,923	3,923
	間接経費					
	租税公課	0	0	0	558	558
一般管理費	0	950	950	319	319	
収支差額	-1,904	256	1,117	0	0	

※千円単位での表示により、端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	施設の設置目的に合致した事業が実施され、平日の稼働率はほぼ100%と高い水準で管理・運営されている。 高い稼働率であるため、利用者満足度は高く改善点は少ないと考えるが、年1回実施する利用者アンケートの分析や活用により、さらなる改善を目指していただきたい。	苦情への対応や、アンケート・ご意見箱の回答に対してのフィードバックなどが適切に実施されているか、適宜指導とモニタリングを行っていただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	軽微な修繕を職員が対応することで施設の修繕料を削減する効果が出ているといえる。 植栽・設備の維持管理を他の指定管理施設と合わせて一括発注することでコスト削減効果が得られている。	近年の物価高騰の影響により、必要経費の水準にも変動が生じることが予想されるため、サービス品質を維持するために必要な経費なのか、削減可能な経費なのかを適宜協議のうえ、最適なコスト管理を目指していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	A	事業計画通りの運営が行われており、報告も不備なく行われている。 防災訓練は定期的実施するよう仕組化されており、人材育成を目的としたホスタリアン研修を入社時の必須研修としている点が評価できる。	危機管理マニュアルや緊急連絡網が最新の状況であるかを適宜モニタリングしていただきたい。 防犯カメラが未設置の施設であるため、防犯体制として問題ないか検討していただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？	A	自己資本比率・流動比率ともに低下傾向を示し、短期的な資金繰りに不安が見られる。 収益性については、総資本経常利益率がプラスの数値へと改善に向かってはいるが、物価・賃金が上昇傾向にあるため、収益性低下の要因となることが予測される。引き続き適切な経費削減に努め収益性を高めていただきたい。 事業収支は令和4年度の赤字から黒字へ転じ、令和6年度には黒字幅を拡大しており、経営改善の成果が見られる。	経費削減に向けた取組みが適宜行われているか注視していただきたい。
	A	労働環境整備に向けて適切な取組みが実施されている。必須ではないが、時間外労働に対する賃金の項目名を単純な残業手当ではなく、割増分の支給であることがわかるような項目名への変更の検討を推奨する。	引き続き適切な取組みが実施されるよう適宜指導とモニタリングを行っていただきたい。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	高い稼働率であるため、利用者満足度は高く改善点は少ないと考えるが、年1回実施する利用者アンケートの分析や活用により、さらなる改善を目指していただきたい。	